

## 権利擁護・虐待防止に関するレポート

氏名	田村 俊輔
----	-------

### 1. 平成30年度の目標(平成31年度より勤務している方は無記入)

身体的虐待…利用者との関わりを持つ際に、説明等を含めて意味が伝わらなかったり、言われたことが分からなかった時などがあつた場合でも行動を抑制したり、暴力はしません。また、暴力と思われる行為を受けた場合には、暴力をやめてもらうように伝え、おさまらない場合のみ状況に応じて正当防衛として身体拘束をする事も考えます。

身体拘束…各対象者の特性に応じた支援を行い、行動を抑制することはしません。身体的虐待にも記載しましたが、暴力を受けておさまる事がない場合のみ正当防衛として身体拘束をすることも考えます。

性的虐待…支援を行う中で手添えを行う必要性を感じた際にも誤解を受けることの無いように本人の了解を得てから行います。また、言葉遣いを含め行動に関して誤解を受けることの無いように距離感についても意識して支援を行います。

心理的虐待…どの対象者に対しても言葉遣いや振る舞いに関して丁寧に対応し、精神的苦痛を与える事が無いように日々、対応や支援技法について学んでいきます。

放棄・放置…日々の支援の中で、能力だけに目をむけず、体調面や服装を含め変化に気づくことが出来るように観察し、変化があつた場合には早急に相談・対応を行います。

経済的虐待…金銭が関係する事項に関しての相談等があつた場合には関係機関と連携し、早急に対応を行います。

### 2. 上記目標に関する振り返り(平成31年度より勤務している方は無記入)

身体的虐待…利用者との関わりの中で、説明等を含めて意味が伝わらなかった場合などがありましたが、行動を抑制・暴力をしませんでした。暴力と思われる行為を受けた場面はありませんでした。

身体拘束…各対象者の特性に応じた支援を心がけ、行動を抑制することはしませんでした。暴力をうけることはありませんでした。

性的虐待…支援を行う中で手添えを行う必要性を感じた際は同性・異性に関わらず、本人の了解を得てから行いました。言葉遣いを含め行動に関して誤解を受けることの無いように適度な距離感で支援を行なえたと思います。

心理的虐待…対象者に対して丁寧な言葉遣いや振る舞いを心がけて対応し、精神的苦痛を与える事が無いように対応や支援技法について学び現場で実践しました。

放棄・放置…支援の中で、能力だけに目をむけず、体調面や服装を含め変化気をつけて観察しました。早急に相談・対応する場面はありませんでした。

経済的虐待…金銭が関係する事項に関しての相談等があつた場合には関係機関と連携し、情報共有を行ないながら対応しました。

### 3. 今年度取り組んでいきたいこと

身体的虐待…利用者・ジョブコーチ対象者・ぱさーじゅ対象者と関わりを持つ際に、支援内容が伝わらなかった場合に行動を抑制・暴力はしません。また、暴力と思われる行為を受けた場合には、暴力をやめてもらうように伝え、おさまらない場合のみ状況に応じて正当防衛として身体拘束をする事も考えます。

身体拘束…対象者に応じた支援を行い、行動を抑制することはしません。身体的虐待にも記載しましたが、暴力を受けておさまる事がない場合のみ正当防衛として身体拘束をすることも考えます。

性的虐待…支援技法の手添えを行う必要性を感じた際にも誤解を受けることの無いように本人の了解を得てから行います。言葉遣いを含め、行動に関して誤解を受けることの無いように距離感について意識し、支援を行います。

心理的虐待…言葉遣いや振る舞いに関して丁寧に対応し、精神的苦痛を与える事が無いように日々、対応や支援技法について学んでいきます。

放棄・放置…日々の支援の中で、作業遂行だけに目をむけず、体調面や服装を含め変化に気づくことが出来るように観察し、変化があった場合には早急に相談・対応を行います。

経済的虐待…金銭が関係する事項に関しての相談等があった場合には関係機関と連携し、早急に対応を行います。